

# ～TANKYU～

谷地南部小学校  
校内研究だより  
2023. 4. 18  
No.3 文責 荒木秀

## これまでの研究について③

学校研究の柱である授業研については前号まで説明をしてきましたが、研究部としてそれ以外にも昨年は、「評価」「家庭学習」「道徳教育」を重点項目として研修を重ねてきました。新しくいらっしゃった先生方も多いので質問します。

**「なぜ、評価をするのですか？」**

**「なぜ、宿題を出すのですか？」**

白田先生どうですか？すぐに答えられますか？なかなか難しいですよ。でも、安心してください。私たちも曖昧な答えしか言えなかったのです。だから、改めて研修し、答えを探してきました。そして、南部版の「納得解」を作ってきました。詳しく知りたい方は、ぜひ昨年度の「TANKYU」をご覧ください。でも、そんな時間ありませんよね。だったら、昨年からいらっしゃる先生方に聞いてみてください。どの先生もスラスラ答えてくれるはずですよ。あっ、でも研究主任には聞かないでくださいね。今研究の構想を練っていて、ちょっと忙しいので…。

ちなみに、昨年度研究部の伊藤先生、荒木は、毎日提出させる課題（いわゆる一般的な「宿題」）を出すことを止めました。ただし、「家庭学習」を全くさせていないというわけではありません。全員に一律に求めなかったり（自主学習）、毎日ではなく期間を延ばしたり（教科担任制が当たり前の中学校ではよくありますよね。次の授業までのように。）しています。詳しく知りたい方は、ぜひいつでも声をかけてくださいね。伊藤先生が、スラスラ答えてくれますよ。

ただ一つだけ確認しておきたいのは、

**宿題は手段であって、目的ではない。目的は、学力をつけること。**

ということです。宿題を目的にしてはいけませんよ。